【所属名　福祉事務所】

【会議名　糸魚川市介護保険運営協議会】

日	令和８年７月 23 日(木)	時間	13:30～14:35	場所	糸魚川市役所 201,202 会議室
件名	令和８年度　第１回　糸魚川市介護保険運営協議会 （糸魚川市地域包括支援センター運営協議会・糸魚川市地域密着型サービス運営委員会）				
出席者	**【委　員】出席委員　13 人** 加藤美也子委員（会長）、金子裕美子委員（副会長）、谷昌尚委員、金子正樹委員、小林洋介委員、田原克朗委員、富田一雄委員、中倉幸博委員、長崎一司委員、広幡隆子委員、古市喜代隆委員、吉川大委員、八木章委員 欠席委員：竹内博文委員 **【事務局】５人（ほか地域包括支援センター管理者　５人）** 福祉事務所：山岸所長　　介護保険係：渡辺次長、倉又主査 地域包括ケア係：飯田係長、加藤主査　　地域包括支援センター管理者				

会議要旨

１　開　会（13:30）

２　福祉事務所長あいさつ

３　報告・協議事項

１）全体に係る事項について

①　委員の交代について（資料 No.1）

団体からの推薦委員について、委員変更の申し出があり１名の方を新たに委嘱した。

２）糸魚川市介護保険運営協議会

①　介護保険事業の運営状況等について（資料 No.2-1）

（質疑は無かった）

②　高齢者福祉計画・第 10 期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査について（資料 No.2-2）

（質疑は無かった）

③　介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況について（資料 No.2-3）

委　　員　　資料の「２．介護保険事業特別会計の歳出決算（見込）状況」の決算の項目のところで、表内の令和７年の決算見込みから令和６年の決算を引いた値がずいぶん大きい数字、特に「保健福祉事業」に関して数値が大きくなっているのですが、なぜでしょうか。

事 務 局　　令和６年度につきましては、総合事業の方に保健福祉事業で実施をしていました「短期集中系サービス」というものがございまして、これを令和７年度から「１　介護予防・生活支援サービス事業」の方に移行した関係で、前年度の決算額の差が大きいものとなっております。

委　　員　　今ほど、一般介護予防事業の方へ移行したとのことでしたが、事業計画値について「２　一般介護予防事業」の横目が大きい数字になっているのに決算額は前年とそんなに大きく変わらない点がわからないので、わかりやすく説明をお願いします。

事 務 局　　先ほどですね、保健福祉事業でみていた短期集中系サービスにつきましては、「１　介護予防・生活支援サービス事業」の方に移行させていただいております。「２　一般介護予防事業」の計画値の額と令和７年度の決算額の大きな差っていうところにつきましては、翠ペイを活用した一般介護予防事業の取り組みを実施しているんですけれども、実績からみると参加された方は増えてきてはいるんですが、翠ペイの活用よりも以前の、参加賞を選ばれる方が多かったことから、事業用経費の執行が進まなかった状況になりますので、計画値と決算額の差がこちらの資料に示す結果になったものであります。

委　　員　　事業そのものは計画通り順調に進んでいると捉えて大丈夫なんでしょうか。

事 務 局　　参加人数というところにつきましては、昨年度と比較しても若干の増加というふうに聞いておりますので、事業の運営自体に大きな問題はないと思っております。

④　高齢者福祉計画・第 10 期介護保険事業計画策定スケジュール（案）について
（資料 No.3-1）

（質疑は無かった）

⑤　介護保険事業計画特別会計の歳出決算状況について（資料 No.3-2）

委　　員　　今ほどの説明で施設サービスの費用について、計画より少なくなっている理由がわかって少しほっとしました。事業所閉鎖の情報もないし、施設サービスはベッド数が決まっているのに、どうして見込み額より少なくなっているのかすごく不思議でした。その理由が、在宅支援っていうことで、ショートステイのベッド数を増やしてくださって施設の費用は減ったけれど、居宅介護サービス費の方が若干増えているっていうことがわかりました。

３）糸魚川市地域包括支援センター運営協議会

① 令和７年度地域包括支援センター業務調査の結果について（資料 No.4-1）
（質疑は無かった）

② 地域包括支援センターの評価指標の解説について（資料 No.4-2）
（質疑は無かった）

③ 令和７年度地域包括支援センター事業報告と評価について（資料 No.5）

④ 令和８年度地域包括支援センター重点委託方針について（資料 No.6）

委　　員　　資料 No.5 にも No.6 にも書いてあるんですが、シルバー人材センター向けに研修会を実施して統一いうことで、シルバー人材センターから人材を登用しているということなのでしょうか。

事 務 局　　介護予防・日常生活支援総合事業について先ほどご説明しましたが、要支援認定に至る前の方々の訪問型サービス、通所型サービスというものを展開しています。今まで既存で訪問介護事業所がヘルパー業務として実施していた内容を、市町村の裁量でいろんなところからご支援していただけるというのがこの総合事業での趣旨です。糸魚川市では平成 29 年からシルバー人材センターさんからご協力をいただきまして、ゴミ出しや掃除といったヘルパーさんじゃなくてもいいような支援という形をシルバー人材センターさんから担っていただいております。その部分について、令和 7 年度で改めて人材育成研修をさせていただき、今後にも向けて取り組んでいるという状況になります。

委　　員　　何人位、シルバー人材センターさんから従事されているのでしょうか。

事 務 局　　現在、利用者数が５、６人位でまだ少ない状況となっております。これからたくさんの方が利用できるような体制確保についても、改めて検討していきたいと思います。

⑤ 指定介護予防支援業務 地域包括支援センター別委託事業所について（資料 No.7）
（質疑は無かった）

４）　意見交換

委　　員　　冒頭、Zoom で介護保険事業計画策定支援業務にかかる受託事業者が参加しておられることをお聞きしましたが、もう少し具体的にどのような事業者で市の事業としてはどのようなことを委託されるのかもう少し詳しく教えていただきたいと思います。

事 務 局　　オンラインで参加いただいている株式会社プライムテック様については、今年度末までが計画期間である現在の第９期の計画策定をしたときも、同じように業務支援いただいた事業者になります。事業者の所在地は新潟市にありまして、他自治体の計画策定支援業務等もされている事業者になります。

主に行っていただく業務は、アンケートデータの入力・分析、分析結果のまとめ、国・県・他自治体等の様々な介護保険制度改正関連の情報収集・提供、「見える化システム」の活用による情報収集・分析など、多岐にわたる業務支援をお願いしております。

４　その他（次回日程等）　令和８年８月 27 日（木）

（質疑無し）

５　閉会